

事前評価調書

I 事業概要			
事業名	治山事業（予防治山事業）		
地区名	瀬戸市岩屋町		
事業箇所	瀬戸市岩屋町		
事業のあらまし	治山施設を整備することにより、荒廃山腹斜面を保全し、山地災害を防止する。		
事業目標	【達成（主要）目標】 固定工 4,782 m ² を設置し、荒廃山腹斜面の保全を図る。		
事業費	事業費	内訳	
	159百万円	■工事費 155百万円、□用補費 百万円、■その他 4百万円	
事業期間	採択予定年度	平成26年度	着工予定年度
			平成27年度
			完成予定年度
			平成29年度
事業内容	固定工 4,782 m ² を設置する。		
II 評価			
①事業の必要性	1) 必要性	当該地域では、山腹の荒廃が進み、山地災害の発生の恐れが懸念されている。地元からの事業実施の要望も強いため、治山事業の実施が必要である。	
	判定	A	A： 現状の課題又は将来の予測から事業の必要性がある。 B： 現状の課題又は将来の予測が十分把握されていない。
		【理由】 山地災害の未然防止を図る上で、当該地域における事業実施が必要であるため。	
②事業の実効性	1) 事業計画	平成27年度に測量設計委託を4百万円で行い、平成27～29年度に工事を155百万円で行う計画となっている。 事業期間は平成27年度から平成29年度で、総事業費は159百万円の予定である。	
	2) 地元の合意形成	合意済み	
	判定	A	A： 事業計画の実効性が期待できる。 B： 事業計画の実効性が期待できない。
		【理由】 地域住民の生命・財産を守る上で事業実施が必要である。	
III 対応方針			
妥当	事業実施が妥当である。：上記①及び②の評価がすべてA判定であるもの。 事業実施は妥当でない。：上記以外のもの。		
IV 事後評価実施の有無と主な評価内容			
■対象（事業完了後5年目） □対象外			
【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】			
【主な評価内容】 治山施設の整備状況			